

超人気FP!

— ABC ネットニュース —

## 深野康彦の 先取り経済NEWS!!

編集・発行 株式会社 アサヒ・ビジネスセンター 2014年12月4日

## 今月のトピックス「アベノミクスと消費税引き上げ、どちらが悪い？」

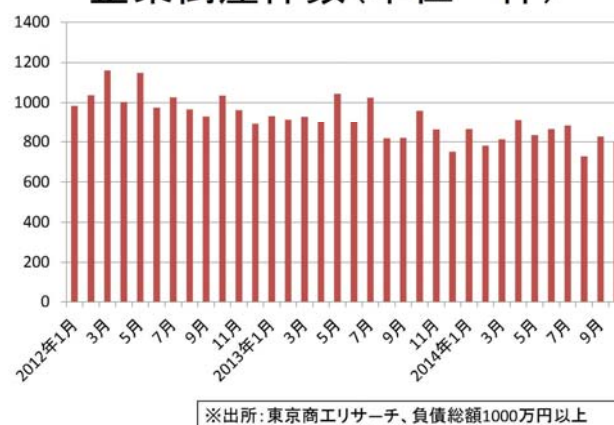
2014年12月8日に7～9月期の国内総生産（GDP）の2次速報値が公表されます。本来であれば2次速報値の結果を受けて消費税率の再引き上げを決定する予定でしたが、11月17日に公表された速報値の結果を受けて、早々と消費税の引き上げ時期を2017年4月まで延期すると決定されました。同時に、消費税の再引き上げを国民に問うと宣言し衆議院を解散、このコラムを皆さんが読む頃には衆議院選挙の真っ最中でしょう。安倍首相は、今回の選挙を「アベノミクス」を問う選挙と位置づけていますが、野党はアベノミクスの失敗を掲げて選挙を戦っている状況です。選挙結果はよほどのことが起きない限り与党が勝つと予想しますが、本当にアベノミクスは失敗であったのか検証してみます。

筆者はアベノミクスは大成功とまで言えないまでも、日本を明るくし低迷した経済を上向かせ拡張方向に転換させた点は評価しています。では、国内総生産（GDP）が2期連続してマイナスとなった要因は何かと問われれば、消費税を5%から8%に引き上げたことだと考えます。

確信に至るデータがないので申し訳ないのですが、企業倒産数にそれが現れるのではないかと考えています。図は東京商工リサーチが公表している、1000万円以上の負債を抱えて倒産した企業の件数です。2012年1月からの倒産件数は、概ね右肩下がりになっていることがお分かりになるでしょう。安倍政権は2012年12月に発足したわけですが、以降は月間の倒産件数が1000件を超えた月は2013年の2ヵ月だけ。2014年は900件を超えた月は1ヵ月しかありません。年間の倒産件数は、2010年度は13065件、2011年度は12707件、2012年度は11719件、2013年度は10536件と減少しています。アベノミクスが始まる前から倒産件数が減少していたため、景気循環的には安倍首相が就任する前から景気は回復基調にあったとも言えますが、倒産件数の減少スピードを考えると、アベノミクスの効果はあったと考えてよいのではないのでしょうか。

問題は今後ですが、筆者は倒産件数は増加していくのではないかと考えています。円安の加速により原材料費が高騰して倒産する企業もあるのですが、消費税の引き上げにより倒産する企業も増えると考えられるからです。通常税金は、利益に対して課すものですが、消費税は売上げ（税法上の正確な表記ではないかも）にかかる税金。企業が赤字だろうが、黒字だろうが、売上げが1000万円以上ある企業は納税業者になります。黒字企業は負担感が増しているとはいえ、消費税を納税することは苦もないかもしれませんが、日本の大部分を占める中小企業、中でも赤字企業が8%となった消費税を負担するのは並大抵のことではありません。企業によっては消費税の負担に耐えきれず倒産するところも出てくると考えられます。言い換えれば、今後の倒産件数の推移、そしてその理由によってアベノミクスが悪いのか、消費税の引き上げが悪いのかという景気低迷の要因が分かるのです。明確な答えは出ていませんが、「消費税引き上げの影響は軽微だった」と公言したのはだれだ！と声を大にして言いたいのは筆者だけではないはずです……。

企業倒産件数(単位=件)



※出所:東京商工リサーチ、負債総額1000万円以上